

令和5年度 学校長あいさつ

加藤 丈之

わたしたちの寄小学校は、県西部松田町の北に位置し、清流中津川が流れる山あいの小学校です。鳥のさえずりが聴こえ、青空は限りなく広がり、広々したグラウンド。正門の横には、寄神社の樹齢約500年を超える大杉がそびえ立ち、雄々しい姿で見守ってくれています。そして、学校の軒下には、毎年、ツバメが多く巣をつくり、たくさんのツバメたちが巣立っていきます。

また、『我もまた 住まはやとしも おもふかな みやまのおくの やどりきのさと』と明治の時代、寄を訪ねた井上毅文部大臣が感激し、この句を詠んだといわれます。昔から素晴らしい地域であったことが伝わってきます。

令和5年度は、4名の新入生を迎え、全校児童は22名。上学年が下学年を温かく支え、下学年は上学年に憧れて学んでいく、そのような素敵につながりが脈々と受け継がれています。子どもたちはお互いのよさを認め合いながら学習に取り組み、生き生きと学校生活をおくっています。

目まぐるしく変化し予想不能な未来のなかでも、子どもたちは人と関わりながら自分の可能性を発揮し、主体的に行動してほしいと願います。また、自分の夢と希望、目標を持ち、その実現に向けて努力を惜しまず、また頑張れる自分を支えてくださる地域や家庭の皆様へ感謝の気持ちを持ち続ける人に成長してほしいと思います。地域の中の学校として、小規模だからこそできることや地域の特色を生かした教育活動の実践に努めます。

「子どもが真ん中！子どもたちは、地域の宝、地域の未来！」地域の宝である子どもたちの健やかな成長のために、教職員一同「チーム寄小」となり、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

日頃より学校を支えてくださっている保護者や地域の皆様、いつもありがとうございます。学校・保護者・地域との連携を深め、よりよい学校教育を実践してまいります。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。